

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 五味 潤 秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2829号 2019年3月19日(晴れ) 第35回例会 会員数124名 列席67名 出席率60.78%



点 鐘 五味 潤 秀幸
司 会 副SAA 小林(弘) 会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

◇本日のランチ

海の幸入りカレー ライス サラダ



ビジター紹介 稲見副会長

◇宇都宮東RC夫人の会の皆様(5名)

会長挨拶 五味 潤 秀幸

皆さん、こんにちは。昨日は彼岸の入りで木曜日21日は春分の日です。後一週間位には宇都宮でも桜が咲くようです。ところで、22日は米山記念奨学生のチョンセンチャン カムニーサイ君の宇都宮大学の卒業式とのことです。ご家族の方は26日にラオスに戻るそうですが、彼はしばらく日本で研修をしてから帰るそうです。彼には日本で得た経験、知識を活かして頑張っていたら、ラオスと日本の懸け橋になっていただけの事を期待しております。「皆さんでラオスに遊びに来て下さい。」とのことでした。去る3月12日に第3グループAB会長・幹事会が宇都宮西RCの主催でグランドホテルにて行なわれました。本日は、クラブ細則の改正の審議採決、また、旭会長エレクトのPETSの報告もありますので、よろしくお願いたします。



幹事報告 手塚 正智

◇先週3月12日(火)に第3グループAB会長・幹事会が開催されました。各クラブの会長幹事より近況報告と今後の活動予定の発表があり、「次年度以降、市内10クラブの共同事業として消防車の寄付を継続しましょう。」との意見が出ました。今後の検討事項と致しました。また、

市内10クラブのゴルフコンペの参加をお願い致しますとの事でした。(日時は5月6日(月・祝)。場所は宇都宮カントリークラブ。参加希望の方は4月5日(金)までに事務局まで申込みを。)

◇昨日、米山記念奨学生のチョンセンチャン カムニーサイ君の歓送会を開催致しました。平日にもかかわらず、担当教授と沢山の会員の御参加を頂き、とても盛大な会になりました。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 田村委員
川村壽文 会員

今年も3月15日の確定申告を乗り越えました。

高神渡 会員

米山奨学生チョン君の歓送会を昨日行ない、とりあえずカウンセラーの役目を終えました。ありがとうございました。

◇青少年奉仕委員会 小林(正) 委員長

去る2月27日に旭中学校、3月8日に泉が丘中学校と陽北中学校で、合わせて15名の善行生徒の表彰を行って参りました。今後も善行生徒表彰を続けていければと思っています。

クラブ細則改正案の審議・採決

司会 手塚 正智

本日の出席会員数は62名でクラブ細則第5条第3節の定足数、会員の3分の1を満たしておりますので、改定案の審議が成立することを報告致します。また、先週も例会で報告しましたが、改正(案)の組織図に一部訂正があり『(ロータリー家族委員及び夫人の会担当委員を含む)』の部分の削除をお願いします。尚、現

況報告書153頁の第9条第4節、親睦委員会の条文は、現行のままで訂正はございません。本日の議長はクラブ細則第4条第1節の規定により五味淵秀幸会長にお願い致します。

五味淵議長

この改正（案）につきましては、3月5日（火）の定例理事会で承認され、皆様には3月7日付でFAXによりお送り致しております。本日、ここでもう一度、改正（案）の主旨をご説明申し上げます。

クラブ細則検討委員会より主旨を説明

小林（利）委員長

五味淵議長

クラブ細則改定（案）をご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

— 挙手をもって承認 —

全員賛成ということでクラブ細則の第16条の規定の条件を満たしておりますので本案は承認されました。

司会 以上で審議・採決を終了いたします。

クラブ協議会（第6回）

「会長エレクト研修セミナー（PETS）の報告」

会長エレクト 旭 英幸会員



3月17日朝10時より川嶋幸雄ガバナーエレクトのもと、鬼怒川温泉ホテルにて1日半の予定で膝詰めでPresident-Elect Training Seminarに出席してまいりました。当日は、天気はよかったです。やや宇都宮より寒く感じられました。しかし、その寒さを吹き飛ばすほどの、熱気に溢れたセミナーを経験してまいりました。

2019-20年度のRI会長は、マーク・ダニエル・マローニーです。アメリカのジケータRC所属で、弁護士です。税法、遺産、農業法を専門としています。RCに入会後、RI理事、財団委員などを歴任し、そして未来の夢委員長、財団コーディネーター、平和センター委員長などを経験しました。また、国連とのつながりが強く、現在の分断された世界を一つにすべく今回のRIのテーマは“Rotary Connects the World”「ロータリーは世界をつなぐ」であります。「ロータリーの礎

は「つながり」です。社会とのつながり、職業のネットワークを広げ、そして家族とのつながり、若い人のロータリーへのつながりから、奉仕を実現し次世代のロータリアンのスキルを高める。」とマローニー会長エレクトは申しております。

川嶋ガバナーエレクトは、サンディエゴの国際会議でのマローニー会長エレクトの気さくさについて、まず触れました。色とりどりの靴下をはいて登場し、会長含めて3人で、イタリアの3大テノールの真似をして、会場を沸かせました。歌が大変うまいと思ったら、テープを流して口パクだったそうです。

会員増強について、川嶋ガバナーエレクトは、クラブに入りやすい組織を作る必要があり、積極的に奉仕可能な組織戦略の必要性を訴えました。また、この分断されている世界をいかにつながりがある世界にするか、その第一歩として、2550地区の中で人々が、地域社会とのつながりを第一に考える必要があるとのこと。未来の為に子供達を守り、健全に育てる環境づくりが、地域の発展につながると考えているとのことでした。「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマのもと未来へつながる活動をしていきたいとのことでした。

2019-20年度 地区の方針

1. 会員増強への取り組み

- ①会員の純増 最低1名の純増を着実に。
- ②入会しやすいクラブ作り
- ③ローターアクトクラブの組織化 ローターアクト、インターアクトを各クラブで作って下さい、とのことでした。

2. 子ども問題への取り組み

3. RLI（ローター・リーダーシップ研究会）推進

4. 2019-20年度ロータリー賞の奨励

5. ロータリー財団の支援 1人当たり150ドルとポリオプラス30ドルの支援

6. ロータリー米山記念奨学会の支援 一人当たり19,000円の支援。また、米山記念奨学会の設立に貢献した栃木県西方出身の古澤丈作氏（東京RC）の功績を学び称える活動をする。

川嶋ガバナーエレクトの話の後、飯村パストガバナーからクラブ会長の役割と責務、クラブ運営についての研修セミナーがありました。午後は分科会で、各委員会の委員長から方針の説明があり、その後グループ討議がありました。この時、先日皆様にお配りしたロータリーについてのアンケートの結果の報告もありました。